

令和4年度経済学部グローバル社会文化研究センター個人研究費テーマ一覧

No	資格	氏名	研究テーマ
1	教授	安田 静	劇場という場について
2	教授	渡邊 修士	住宅ローン借入の決定要因とそれが消費におよぼす長期的影響に関する研究
3	教授	小滝 一彦	①都心・地方の二拠点生活が人口分布や産業分布に及ぼす影響について ②企業の人材ニーズと大学生の「社会人基礎力」について
4	専任講師	佐藤 温	幕末社会における文人の諸相についての研究
5	専任講師	平木 貴子	都市型キャンパスに通学する大学生の睡眠状況改善および運動習慣獲得行動のチェックリストの作成
6	教授	秋山 孝信	英語類義動詞における意味的相違とing特性構文の容認性について
7	教授	卜部 勝彦	地図の得手・不得手と地理教育での系統的地図指導に関する研究
8	教授	小笠原 祐子	アイデンティティと就労の国際比較ジェンダー分析
9	教授	奥田 智	県立高校2校の比較検証による公民的態度を養う教育プログラム有効性の検証及び開発
10	教授	坂野 徹	科学の歴史の総合的研究
11	教授	篠ヶ谷 圭太	予習が授業内の相互作用および授業後の学びの質に与える影響
12	教授	鈴木 基子	張愛玲『小団円』における恋愛と結婚—伝記と小説との比較を通して
13	教授	武廣 亮平	古代出雲国関係史料の統合的検討
14	教授	田村 真奈美	英国ヴィクトリア朝文学の文化研究
15	教授	徳永 志織	表現から見た語彙・文法ネットワークの構築とスペイン語教育への応用
16	教授	根村 直美	ポストヒューマン・エシックスの行方を探る
17	教授	村岡 哲郎	網膜中心座標系における平行および鏡像方向の運動物体の認知
18	教授	山岸 郁子	大衆文学の研究 1950-70年代を中心として
19	教授	リチャード・パウエル	「多言語法と言語権の間の倫理的及び実際的關係：法廷通訳の役割」
20	准教授	生亀 清貴	リスク資産データを用いた多元分割のモデル提案及びその応用
21	准教授	位田 将司	1910～40年代における日本文学哲学をめぐる哲学及び文学理論の研究
22	准教授	岡島 慶	人種的マイノリティの文学史と早期英語教育の橋渡しについて
23	准教授	岡本 奈穂子	ドイツ、ドレスデン市における移民・難民の社会統合政策
24	准教授	笠貫 葉子	認知言語学的視点からの比喩研究
25	准教授	加藤 嘉津枝	①日本人EFL学習者における中学・高校英語の定着度について ②フィンランドの教育法と日本の英語教育 ③日本人EFL大学生の英文多読—その学習効果について

令和4年度経済学部グローバル社会文化研究センター個人研究費テーマ一覧

No	資 格	氏 名	研究テーマ
26	准 教 授	久井田 直 之	ハイブリット型授業向けのCLIL教材と教授法—関心と学びの関係性に着目して
27	准 教 授	杉 藤 久 志	チャーサーとヨーロッパの夢
28	准 教 授	高草木 邦 人	モニュメントの比較史研究：近現代ルーマニアの事例を中心として
29	准 教 授	バターフィールド ・ジェフリー・リー	言語の起源,進化とこれから
30	准 教 授	ハッチンソン ・キャロライン	英語教育の総合的研究
31	准 教 授	藪 越 知 子	EFL学習環境における自己調整学習—英語習熟度との関係
32	専 任 講 師	桑 山 啓 子	15世紀の英語における現在分詞の発達
33	専 任 講 師	越 澤 亮	移動ターゲットの到達時間を予測している時における視線活動と脳活動様式 —放物線移動するターゲットを用いたの検討—
34	専 任 講 師	田 中 圭	ドローンを用いた水稻生育のモニタリングの高度利用化に関する研究
35	専 任 講 師	田 中 菜 採	英語速読教材の理解問題の種類の妥当性検証
36	専 任 講 師	戸 塚 英 臣	Hurst指数を用いた仮想通貨価格のボラティリティの長期記憶性に関する実証分析
37	専 任 講 師	林 直 樹	日本語・日本語社会の実態解明